

## 春日井市 2030 年度の温室効果ガス排出量の将来推計

春日井市における 2030 年度の温室効果ガス排出量の推計にあたり、①2019 年度の温室効果ガス排出量に基づき推計した「BAU(現状趨勢)ケース」における 2030 年度温室効果ガス排出量 (1,752.2 千 t-CO<sub>2</sub>)、②電力排出係数の低減による削減見込み、③国等と連携した対策による削減見込量を基にしました。

その結果、春日井市における 2030 年度の排出量は 1,203.8 千 t-CO<sub>2</sub>、2013 年度比 40.3% (811.1 千 t-CO<sub>2</sub>) の削減と推計されました。

以上から、現在見込まれる春日井市の 2030 年度の温室効果ガス排出量は、国の 2030 年度における温室効果ガス削減目標である 2013 年度比 46%削減の水準を満たしておらず、再生可能エネルギーの積極的な導入など、挑戦的な対策に取り組むことで目標達成を目指す必要があると言えます。

なお、本表の値は、今後の検討により変更となる場合があります。

## 2030 年度温室効果ガス排出量の削減見込量

基準年度排出量及び①～⑤の値の単位：千 t-CO<sub>2</sub>

部門		基準年度 (2013 年度) 排出量	①	②	③	④=②+③	⑤=①-④	2013 年 度比 削減率 (%)
			BAU ケー ス	電力排出 係数の低 減	国等との 連携によ る対策	削減見込 量 合計	削減後 排出量	
産業 部門	農林 水産業	0.7	6.4	0.3	0.0	0.3	6.2	-725.9*
	鉱業・ 建設業	33.4	15.8	1.9	0.7	2.6	13.2	60.6
	製造業	715.9	659.6	168.2	58.3	226.5	433.1	39.5
業務その他部門		475.8	332.9	100.2	27.0	127.2	205.6	56.8
家庭部門		336.9	250.6	71.7	42.5	114.2	136.4	59.5
運輸 部門	自動車	408.7	446.6		64.9	64.9	381.7	6.6
	鉄道	13.4	11.1	4.6	0.0	4.6	6.4	52.2
廃棄物分野		20.8	20.3		8.1	8.1	12.2	41.2
その他 ガス	CH <sub>4</sub>	1.7	1.5		0.0	0.0	1.5	8.8
	N <sub>2</sub> O	7.5	7.5		0.0	0.0	7.5	0.1
合計		2,014.8	1,752.2	347.0	201.5	548.4	1,203.8	40.3

※BAU ケース=2019 年度の温室効果ガス排出量×発動量の変化率 (2030 年推計活動量÷2019 年活動量)。

※2030 年度の電力排出係数は、「地球温暖化対策計画における対策の削減量の根拠」に示される 2030 年度の全電源平均の電力排出係数に基づき 0.25kg-CO<sub>2</sub>/kWh とした。

※将来推計に用いる 2030 年度の活動量について、産業部門は生産額を指標とし、過去 10 年の平均値を、業務その他部門は延べ床面積を指標とし、回帰分析による推定値を、運輸部門 (自動車) を除くその他は人口の将来推計の値を、運輸部門 (自動車) は人口推計と保有台数の回帰分析の両方を用いた。

※四捨五入の関係で計が一致しない場合があります。

\*産業部門の農林水産業について：2018 年度に都道府県別エネルギー消費統計の値について 1990 年度まで遡及改定されているが、上記の計算においては基準年度 (2013 年度) の値は改定前の値を用いているため、削減比率が大きくなっている。